

高専生の専門英語力 UP に向けた国際交流事業の活用

Development of Technical English of Kosen-Students Collaborating with Short Term International Exchange Students

○柳生 義人¹、西口 廣志¹、石貫 文子¹、原口 和子¹ (1. 佐世保高専)

○Yoshihito Yagyu¹, Hiroshi Nishiguchi¹, Fumiko Ishinuki¹, Kazuko Haraguchi¹ (1. NIT, Sasebo Coll.)

E-mail: yyagyu@sasebo.ac.jp

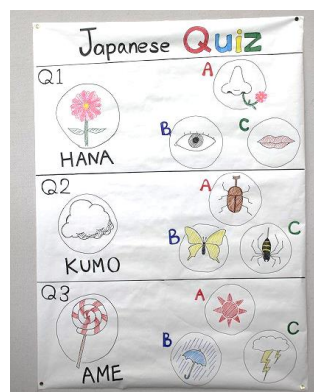
1. はじめに

佐世保高専(以下, 本校)では, 知識活用力を涵養するために準学士過程 4 年生を対象に知識活用教育(知活)を実施している。その一環として設けられている国際技術者コミュニケーションコースでは, “専門用語を用いた実践的な英会話能力”の習得を目標とし, 主に外国人講師との少人数によるフリートーク, ディスカッション, プレゼンテーション等を実施するとともに, 国際交流事業の一環として, 例年, 中国アモイ理工学院やシンガポール・ポリテクニクの学生および米海軍佐世保基地の小学生・高校生などを佐世保高専に招待し, 英語での文化交流, 英語での理化学実験(インターナショナル・サイエンスパーク in 佐世保高専)や英語での先端機器や工学実験を介した学校紹介(インターナショナル・サイエンスツアー in 佐世保高専)を実施してきた。

本稿では, 高専生の専門英語力 UP に向けた導入教育の一環としてシンガポール・ポリテクニクとの交流にて実施した英語による国際交流について紹介する。

2. 専門英語力 UP に向けた国際交流事業の活用

佐世保高専に短期留学生として来校したシンガポール・ポリテクニクの学生(12 名)に対して, 専門英語力 UP に向けた導入教育の一環として一般的なテーマで英語によるポスタープレゼンテーションを行った。本校の学生は 1 グループあたり 2~3 名とし, 1 対 1 の会話の機会を増やし, コミュニケーションをとるきっかけを作った。ポスターには, 文章を記載することを極力禁じることで, 自分の言葉での会話を促した(図 1)。セッションの内



<プレゼンターマ>

1. 佐世保高専について
佐世保高専クイズ
2. 佐世保について
佐世保クイズ
3. 日本文化
日本文化クイズ
4. 役に立つ日本語
日本語クイズ

図 1 作成したポスターの一例

訳は, 自己紹介(1 分), ポスタープレゼンテーション(3 分), 質疑応答(2 分)とし, これを 4 ターンにわたり実施した。短期留学生はローテーションで, 異なるテーマを学ぶことが出来, 高専の学生は異なる相手に対して同じテーマを説明できるため, 反省点を活かしながら実践的に英語に親しむことができる。また, 各プレゼンテーションは, ビデオにて記録し, セルフコーチング出来るようにした。

国際交流イベント後には, ティータイムチャット(お菓子を囲みながらの英会話)を実施し, リラックスした雰囲気の中, 本校の学生たちは, 趣味や学校生活など自身の思いを英語を使いながら伝えており, 学生たちが実践的な英語を使うという教育効果を得るきっかけとなった。

今年度は, 厦門理工学院(7 月), 米海軍佐世保基地内の小学生(1 月), 米海軍佐世保基地の高校生(2 月)との国際交流事業を計画しており, 段階的に専門英語を使う機会を増やしていくことで, 高専生の専門英語力 UP を目指す。

謝辞 外国人講師 T. W. Rawson 氏, T. Ackerman 氏, K. Woodfin 氏, L. Roberge 氏, T. Rawson 氏, A. Kakehashi 氏の皆様に多大なご協力を頂きました。ここに記し御礼申し上げます。